

使用後のエアゾール缶は必ず中身を使いきってごみに出して下さい！

中身の残ったエアゾール缶を排出すると、**ごみ収集車両の火災**や**ごみ処理施設での火災**の原因になります。エアゾール製品は必ず中身を使い切ってごみに出して下さい。

チェック

中身の有無を確認しましょう！

振って中の音を聞いて下さい。
中身のガスが残っていると「シャカシャカ」と音がします。

チェック

中身を使い切りましょう！

必ず使いきってからごみに出して下さい。
使い切らずにごみに出す時には、火気のない通気性の良い戸外で、風下に向かって中身が出なくなるまで噴射ボタンを押して完全に中身を出し切って捨てて下さい。

チェック

中身排出機構がある商品は活用を！

完全に使い切ったと思っていても、缶の中に中身やガスが残ることがあります。中身排出機構とは、このような**わずかに残った中身やガスを安全に抜くために工夫されたキャップ**です。
中身排出機構のご使用の際は、**製品を使い切ってから**使用し、風通しが良く、広く、火の気の無い屋外で、風下に向かって、人にかからないようにして下さい。また、中身排出機構の使用方法は商品の特性によりいろいろ工夫されています。エアゾール缶本体や添付の使用説明書にその使用方法が記載されていますので、よくお読みになってご使用ください。

現在、この中身排出機構の装着を促進しております。

チェック

どうしても使いきることができない場合は？

使い切ったはずなのに、まだ中身の音がする場合は、商品に表示されているメーカーまで、お問い合わせ下さい。